

第65回 気仙沼みなとまつり



「はまらいんや踊り」



「街頭パレード」



「海上打ち上げ花火」



「打ちばやし大競演」

今年の「第65回気仙沼みなとまつり」は、“新市”施行10周年を冠に8月6日（土）、7日（日）の両日、盛大に開催されました。

初日は、田中前大通りを会場にオープニングセレモニーとはまらいんや踊りが大勢の市民、団体の参加のもと繰り広げられました。

2日目、昼の部では街頭パレードが実施されました。復興工事によりパレードコースが昨年と若干変更となり、大友病院様前から出発、市役所前や南町紫市場で停止演技が行われ、(株)気仙沼商会様本社前までのコースを練り歩きました。

午後5時からは、夕の部として港町臨港道路を会場に打ちばやし大競演、海上うんづら、サンマ漁船による集魚灯ライトアップ、内湾では海上打ち上げ花火が実施されました。

多くの皆様からご支援とご協力をいただき、本年も気仙沼市民の元気を発信できたみなとまつりとなりました。

“新市”施行10周年 第65回 気仙沼みなとまつり とどげ!! 海へ 大地へ 大空へ

今年の第六十五回気仙沼みなとまつりは「新市」施行十周年を冠に、八月六日（土）と七日（日）の両日に渡り七万六千人（一日目三万三千人・二日目四万三千人）の観客を集めて盛大に開催されました。

初日は、午後四時半から田中前大通りを会場に「オープニングセレモニー」と「はまらいんや踊り」が行われました。（二社）気仙沼青年会議所による銀鱗太鼓で幕が開き気仙沼市長の挨拶に続いて、みなと気仙沼大使の大城バネサさんの力強い歌が披露され、会場は熱気に包まれました。夕方五時半からの「はまらいんや踊り」には、六十四団体（約三千三百人）が参加し、バイソン片山氏率いるバイソンバンドの演奏と、掛け声隊の子どもたちによる元気な歌でボルテージは上がり、踊り手と観衆の市民は一体となり盛り上がりは最高潮に達しました。

二日目の「街頭パレード」は、今年の出発地点となった大友病院様前での出発式・テープカットに始まり、十六団体（約八百五十人）が、山車の巡行や手踊り、プラスチックバンドなど多岐に渡る内容で通りを練り歩き、沿道の皆さんを楽しませていました。夕方五時からは港町臨港道路を会場に約六百基の太鼓による勇壮な「打ちばやし大競演」の太鼓とともに、カメイスタンド前の岸壁では「海上うんづら」とサンマ漁船「第八十一豊清丸」による集魚灯ライトアップが行われ、港町気仙沼ならではの演出がなされました。クライマックスの「海上打ち上げ花火」では豪華絢爛なスターマインや、「新市」施行十周年を祝う数字の10の花火など二千四百発が打ちあがり、観客の皆さんを魅了していました。

ご参加、ご観覧頂きました皆様のおかげで今回も事故等なく気仙沼みなとまつりを実施することができました。皆様方からの多大なるご支援とご協力に對しまして、厚く御礼申し上げます。



オープニングセレモニーでは主催者を代表して菅原茂会長（気仙沼市長）より挨拶



JC「銀鱗太鼓」の演奏により「第65回気仙沼みなとまつり」が幕開け



64団体（約3,300名）で熱く盛り上がった「はまらいんや踊り」



元気いっぱい！「はまらいんや踊り掛け声隊」



はまらいんや踊りの演奏はもちろん「バイソンバンド」今年もありがとう！



テープカットで「街頭パレード」がスタート



(株) 気仙沼商会のホヤぼーやも出発



勇壮な太鼓の音が響き渡った「打ちばやし大競演」



夏の夜空に輝く「海上打ち上げ花火」



JCによる「海上うんづら」停船演技



打ちばやし会場を鮮やかに彩る「第八十一豊清丸」による集魚灯ライトアップ